


8 掃除機

(1) 手順

手順①：資機材準備	 <p>検定はタイルカーペットの床にシュレッダーくずをまいて行います。</p>
手順②：起動確認	
手順③：前進作業で掃除機を隙間なくかける	
手順④：点検	
手順⑤：片付け	
手順⑥：報告	

(2) 掃除機の約束


約束①：掃除機をかけた後しか歩かない(前進作業)。
約束②：ホースで掃除機本体を引っ張らない。

(3) 用意するもの

 <p>掃除機(ポット型) 1台</p>	 <p>作業表示板 1枚</p>	 <p>白タオル 1枚</p>	 <p>(参考) アップライト型 掃除機</p>
---	---	---	---

掃除機にはポット型とアップライト型の2種類があります。アップライト型はカーペット用の掃除機で、本来はアップライト型を使用するところですが、ここではより一般的なポット型を使用します。アップライト型を使用する場合でも作業を進める動線は同じです。

(4) 作業の流れ

手順①：資機材準備	 <p>初めに作業表示板を出入口付近に立て、次に掃除機のホース、ウォンド、ノズルを組み立て掃除機に差し込みます。コードは移動しやすいようにまとめます。</p>

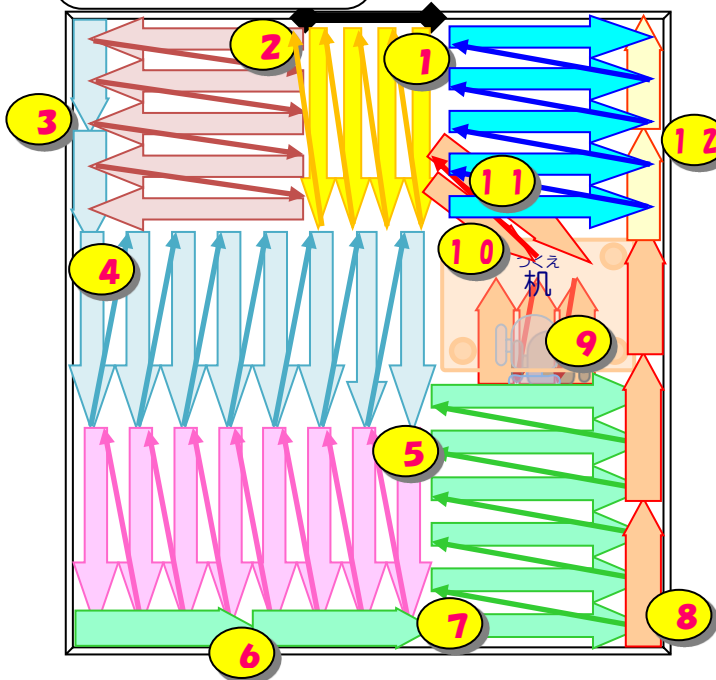
手順②：起動確認



白タオルを持って、掃除機を移動させます。掃除機を移動させる際は持ち上げて移動させるようにしましょう。白タオルは掃除機の横に置いておきます。プラグが下になるようにコードを床に下ろします。ウォンドを下ろし、ノズルが上に向くように置きます。プラグを差し込むときはコードを持たずにプラグをしっかりとって確実に差し込みましょう。次に電源スイッチをオンにし、吸い込み口に手を当て、正常に作動しているか確認(起動確認)をしましょう。

手順③：前進作業で掃除機を隙間なくかける

掃除機をかける動線



掃除機をかけていく際の動線は左の図の通りです。前進作業で隙間のないように作業を進めていきます。

●で示したブロックとブロックの境界の部分は、少し重なるように掃除機をかけていきましょう。

また、各ブロックの最後の部分では、次のブロックの最初の部分にスムーズにつながるよう意識して作業を行いましょう。

詳しくは、この後、ブロックごとに説明します。

掃除機をかける姿勢



掃除機をかけるときの基本の姿勢は、左足が前、右手が上で、左手は順手で持ち、ホースを床から浮かさないように構えます。床とウォンドの角度が45度になるよう意識して操作しましょう。

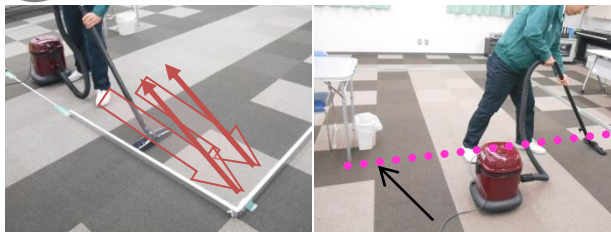
ホースで掃除機本体を引っ張ったり、コードを踏んだり、またいだりしないように注意しましょう。

1 のブロック (出入口)



出入口の左端から掃除機をかけ始めます。吸塵跡が少し重なるように右側へ少しずつ移動していきます。このとき、吸塵していない所は踏まないようにします。

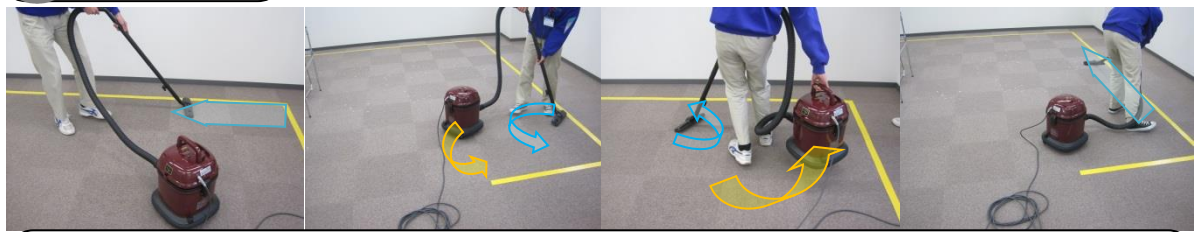
2 のブロック



つぐえ 机のライン

出入口の右側の壁際から机のラインくらいまで左に掃除機をかけていきます。壁際は壁から離れ過ぎないようにゆっくり掃除機を動かしましょう。

3 のブロック



2 で壁に対して垂直に掃除機を当てた後、今度は壁に沿って吸塵していきます。これは **6 8 12** も同様です。部屋のすみから壁に沿って掃除機を後方に動かし、途中で向きを変えて今度は前方に出すようにして壁際を吸塵します。向きを変えるときに、吸塵跡が少し重なるように注意しましょう。また、ホースで引っ張らないようにするために、本体の位置を移動させましょう。

4 のブロック



3 からの流れで、そのまま **4** のブロックに入っていきます。掃除機本体の位置を移動させながら、吸塵跡が重なるように机の脇まで吸塵していきます。この時、ゴミ箱は移動させて、丁寧に吸塵し、すぐに元の位置に戻しましょう。

5 のブロック



4 のブロックの最後の位置からそのまま前方の壁際まで吸塵していき、少しずつ右側へ移動していきます。右の壁際も丁寧に吸塵します。

6 のブロック

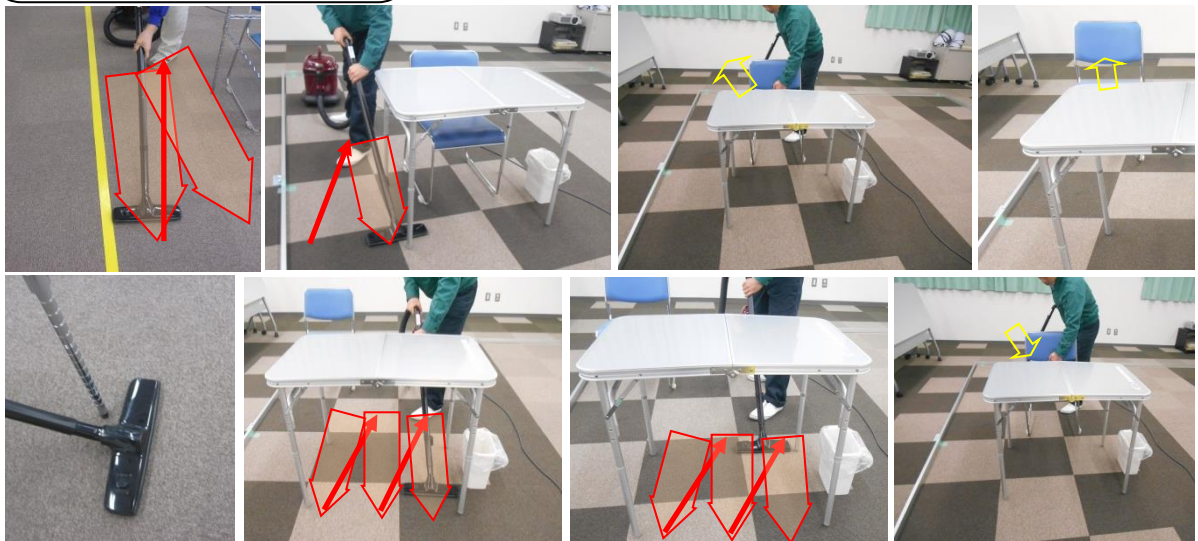
3 のブロックと同様の手順で、**5** のブロックで壁に垂直に当てていた掃除機を、今度は並行の向きにして吸塵していきます。体の向きを変えるときに、吸い込み跡が少し重なるように注意しましょう。

7 8 のブロック



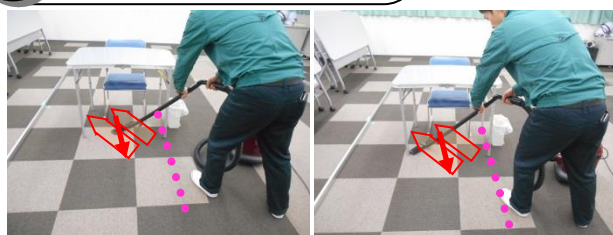
6 からの流れで、壁際に沿って進みます。机のそばまで吸塵したら、**7** で垂直に掃除機を当てていた壁際をもう一度吸塵します。**8**

9 のブロック(机の周辺)



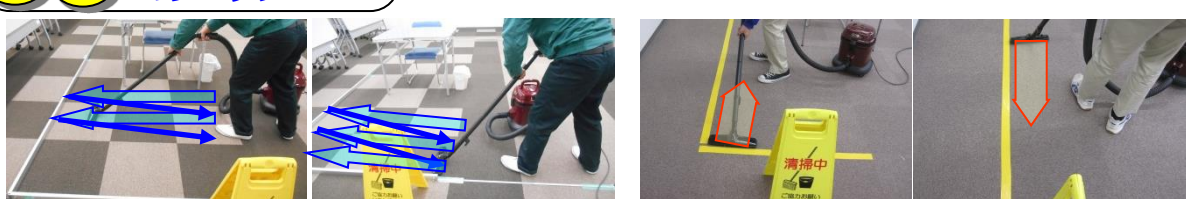
8 からの流れで、机の横を壁際から吸塵していきます。壁と机の間の吸塵が終わったら、右手で椅子を移動させます。このとき、コードの上に置かないように気を付けます。机の足に掃除機をぶつけないように注意しながら丁寧に吸塵していきます。机の下の吸塵が終わったら、左手で椅子を元の位置に戻します。

10 のブロック(机の反対側)



椅子に戻したら掃除機本体を持って机の反対側へ回ります。吸塵していない所を踏まないようにしながら、斜めに机の下を吸塵していきます。

11 12 のブロック



机の下の吸塵が終わったら、**11** のブロックの吸塵に入ります。壁際まで吸塵したら、垂直に掃除機を当てていた壁際を、壁に沿って吸塵します。**12**

手順④：点検



吸塵作業が終わったら、スイッチをオフにし、ウォンドを本体に差し込み、スタートラインまで掃除機を運びます。プラグを抜き、コードを本体の近くにたぐり寄せてから点検をしにコート内に戻ります。点検をして取り残しがあったら手で取り除きます。

手順⑤：片付け



点検を終えたら、片付けをします。コードを白タオルで拭きながら巻いていきます。次にノズル、ホース、ウォンド、本体の順に拭いていきます。掃除機、白タオルを元の場所に戻し、ノズル、ホース、ウォンドは解体して元の場所に戻します。最後に作業表示板を片付けて終了です。

手順⑥：報告

全ての工程が終了したら、スタートラインに立って姿勢を正し、はっきりした声で報告をしましょう。

参考：ノズル、ホース、ウォンドの正しい組み立て方

ウォンド①と②の順番に注意しましょう。ノズルに近い方にウォンド②を付けないと、掃除機に差し込むことができなくなってしまいます。



- ホース
- ウォンド①
- ウォンド②
- ノズル

